

## 技能検定に於ける検定内容詳細



【使用薬剤】 NPO法人日本ヘアカラー協会 / 協賛メーカー薬剤使用  
 (協賛メーカーはJHCAホームページより参照)

<ハイライト> パウダーブリーチ オキシ6%  
 <ワンメイク> ナチュラル系10 Lv オキシ6%

(薬剤規定に従ってください)

【内容】 ウィービング+ワンメイク (トーンアップ)  
 新ヘアカラー入門 (P59-61)参照

ウィービング (3.3.7) 15枚 ) 35分  
 ワンメイク (トーンアップ)

自然放置 30分

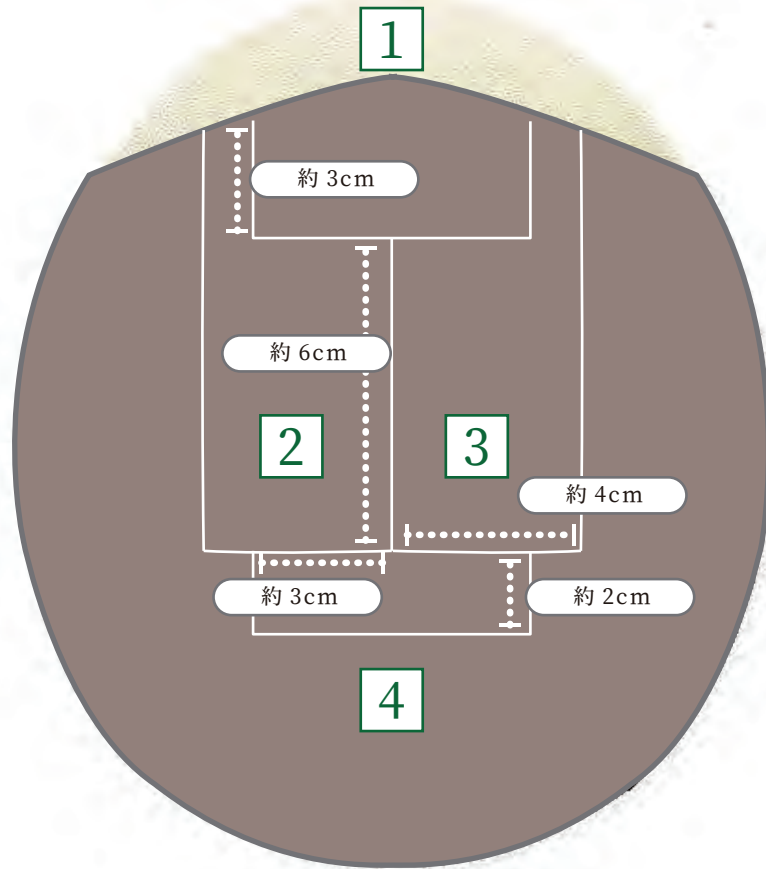
流し・ドライ、ノンブロー・仕上げ 30分

ヘアカラー施術後はノンブロー、アウトバス・スタイリング剤なし (ハンドドライのみ)

- 【ウィッグについて】
- ・ウィッグ (レジーナ337S 2016年以降製造のもの) を使用のこと
  - ・台座下の長さでワンレングス
  - ・ドライ、ノーパート、オールバックシェイプ、の状態よりセクショニングスタート

## セクショニング

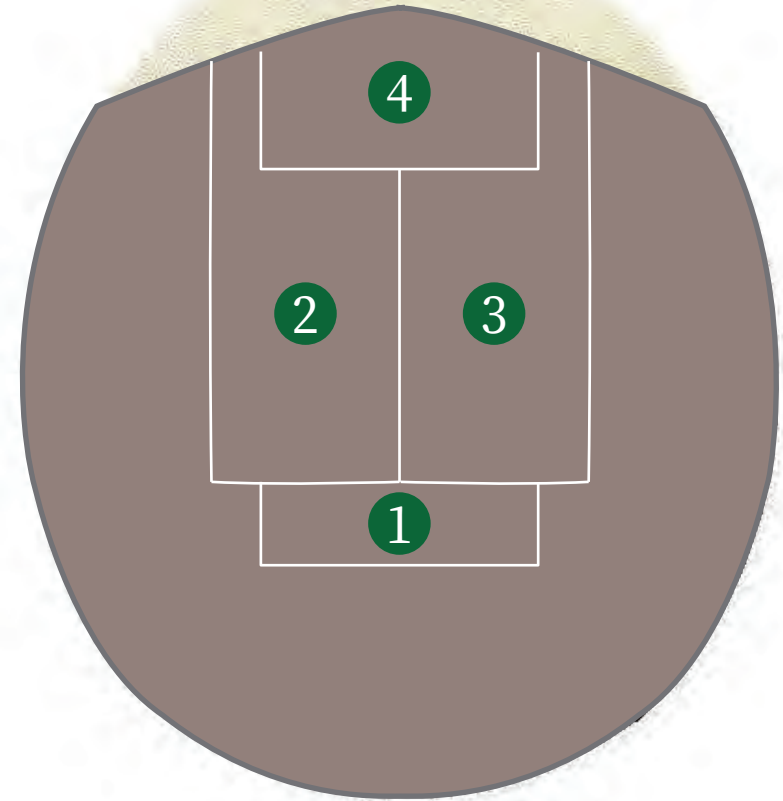
セクショニングの順番について

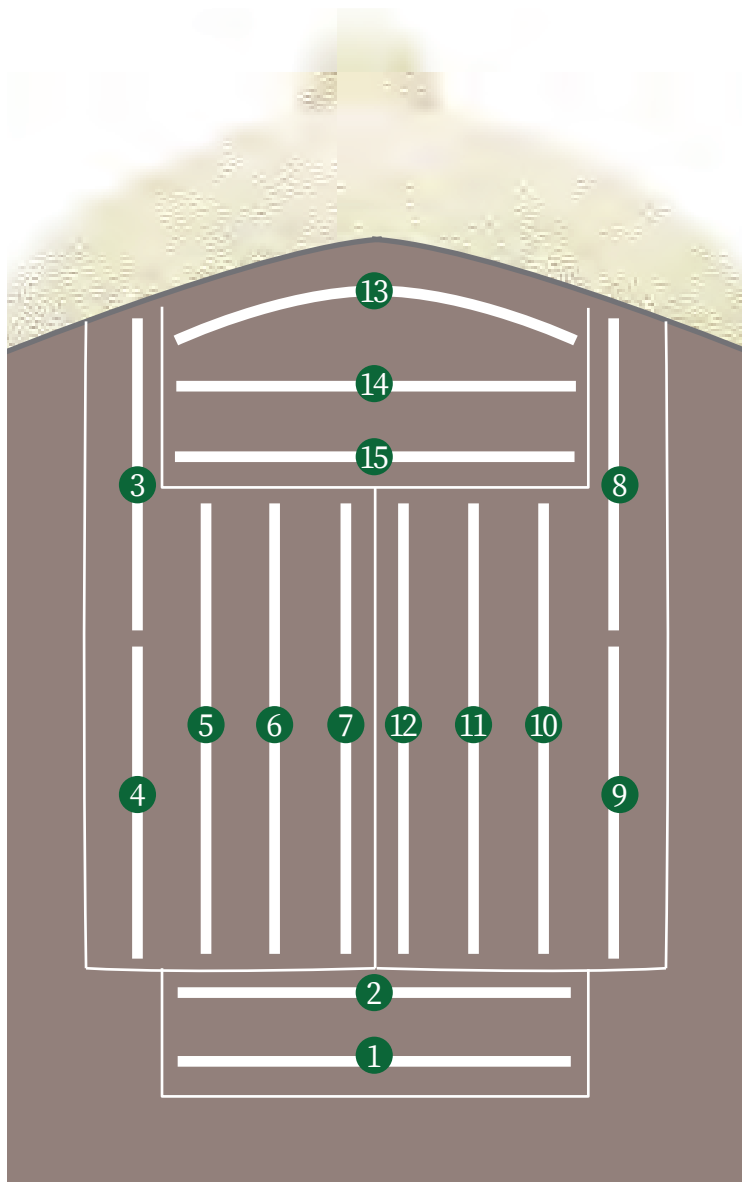


- 1** (フロントボックス) …センターパートを中心に、奥行約3cm、幅約6cmで取る。
- 2** **3** (サイドセクション) …両サイドを奥行き約6cmで取り、イア・トゥ・イアに向けて約4cm下ろします。横には、フェイスラインに向けて平行なスライスを取る。
- 4** (つむじ周り) …サイドセクションの奥行きから、フロントボックスの延長線上に幅約3cm、奥行き約2cmで取る。

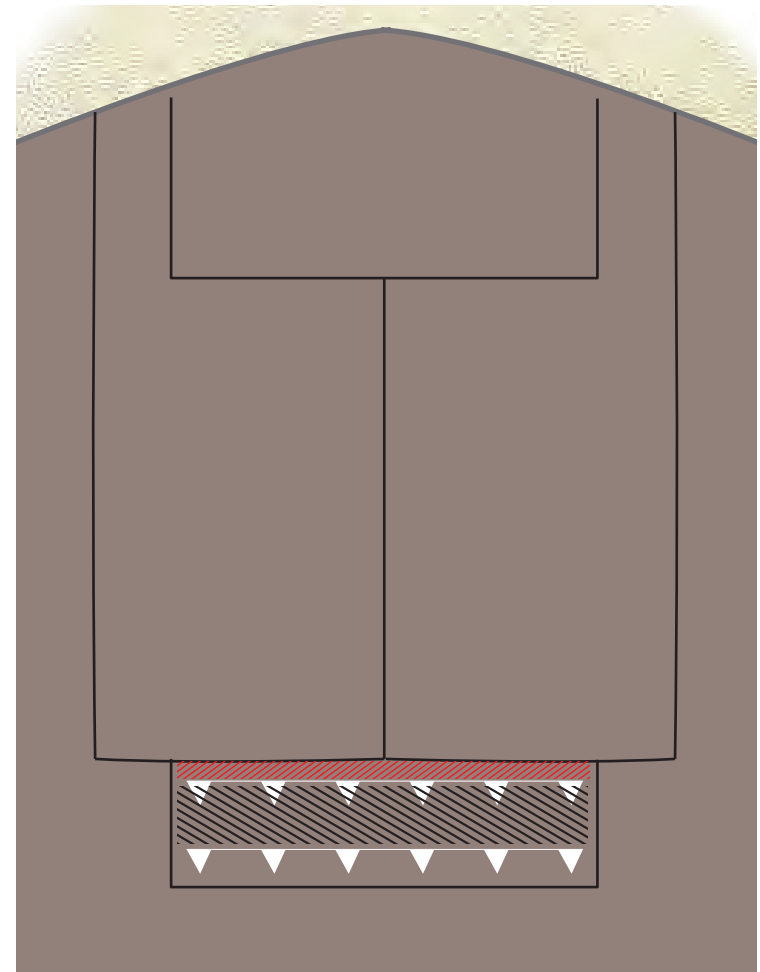
## ホイルワーク


ホイルワークの順番について



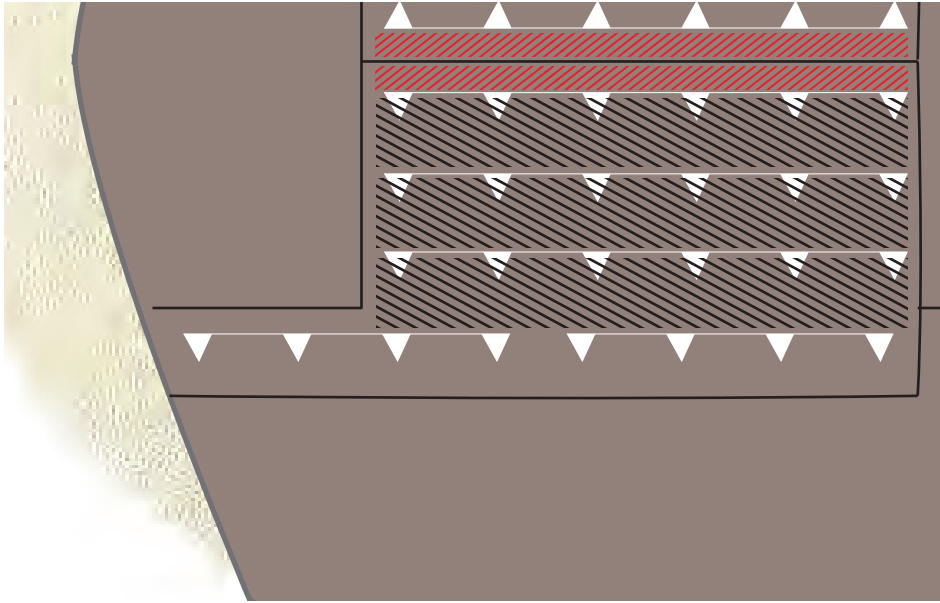




### 4 (つむじ周りについて) カバーリング、スライス幅詳細



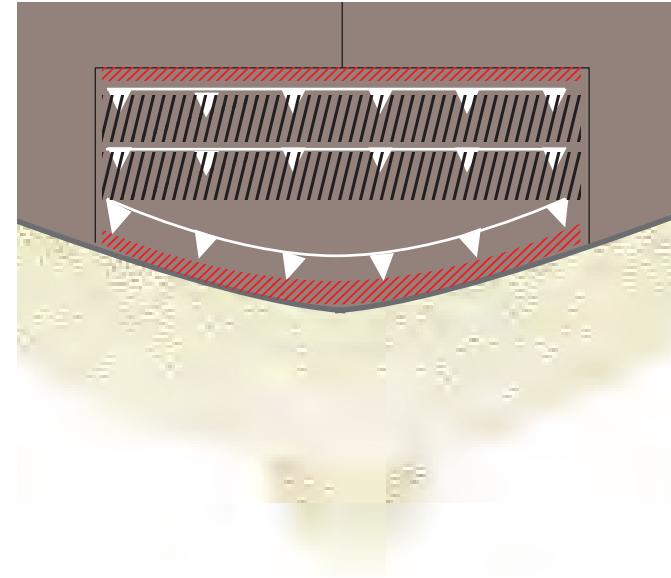
- 4 つむじ周りはセクションラインと平行なスライスを取り、＜深さ3mm、幅3mm、間隔7mm＞のウィーピングを取り薬剤を塗布。スライスと同様に1cm。合計2枚入れます。
- 上のセクションはホイルが入れづらいので、しっかりオンベースに引き上げる。
- 上の図、 のように頭頂部に表面2mmのカバーリングを残します。


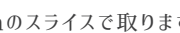

**2 3** (サイドセクションについて) カバーリング、スライス幅詳細



**2 3** サイドセクションにうつります。フェイスラインのヘムラインには  カバーリング 2 mm 取ります。  
<深さ3mm、幅3mm、間隔7mm>のウィーピングを取り薬剤を塗布。します。  
バックと同様に上のセクションはホイルが入れづらいので、しっかりオンベースに引き上げます。  
厚さ1cmのスライスで上の図の要領で片側5枚、逆サイドも同様に合計10枚のホイルを入れます。  
上の図、 のように頭頂部に両サイド共に、表面に2mmのカバーリングを残します。

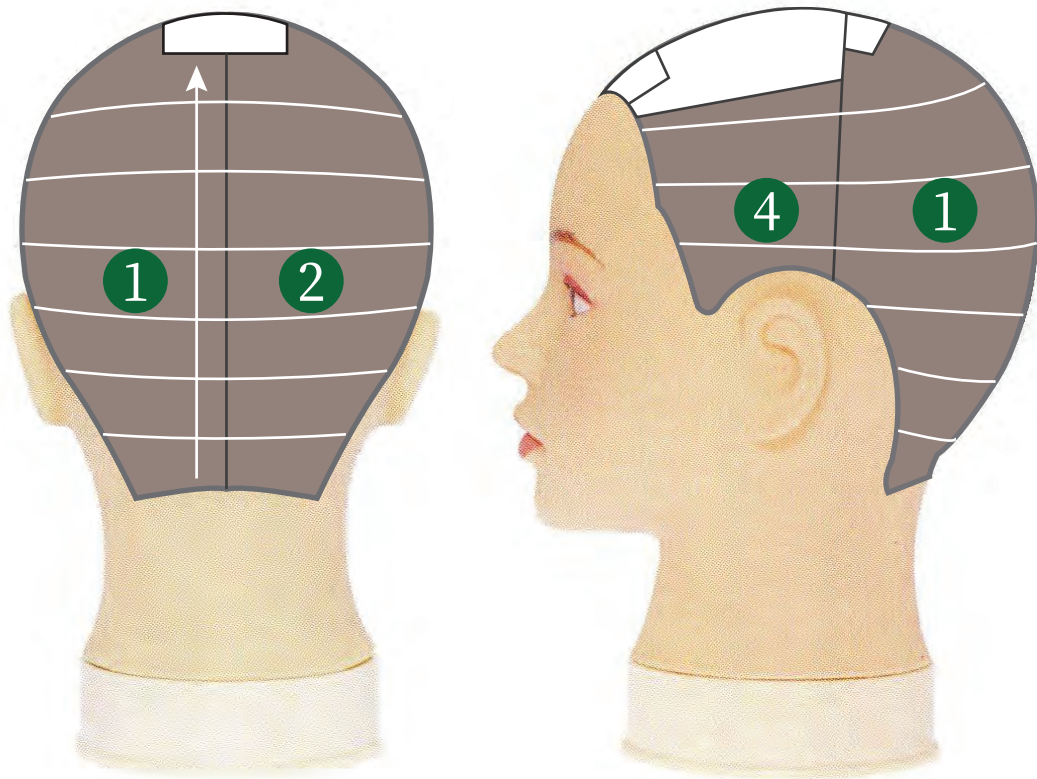
**1** (フロントボックスについて) カバーリング、スライス幅詳細



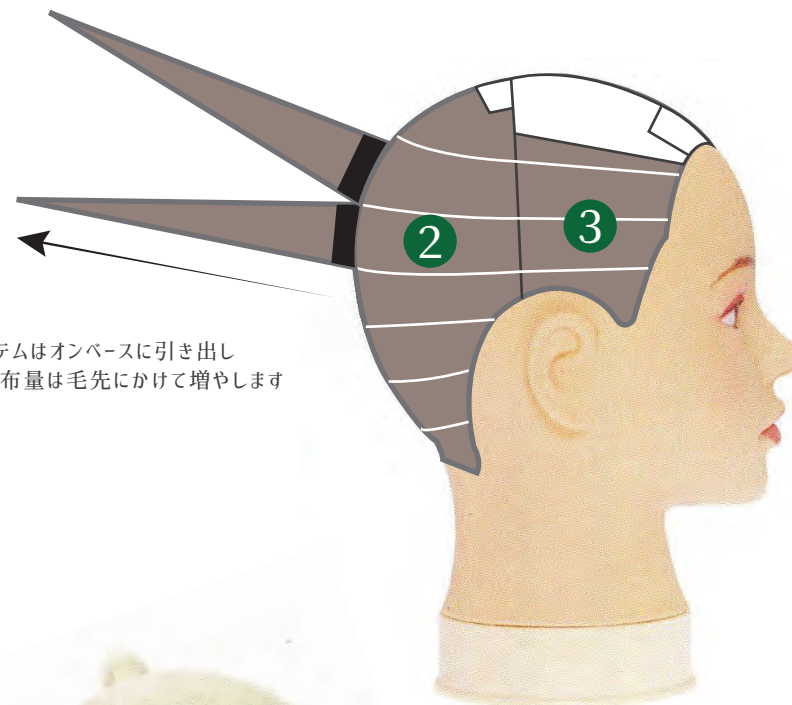
**1** はフェイスラインに沿った厚さ5mmのスライスを引き出し、<深さ3mm、幅3mm、間隔7mm>のチップを取り、フェイスラインに余った2mmのカバーリングを残します。  
( 上図参照)  
2線目からは厚さ1cmのスライスで取ります ( 上図参照)  
フロントボックスは計3枚入れます。  
余った2mmがフロントボックスのカバーリングになります。  
トリプルスターのウィーピングは計15枚で終了。  
全てのホイルを入れ終わったら、ワンメイクの準備を行います。  
ホイルリング部分を全て上に上げてシングルピンで固定します。  
ホイル周りの毛もダックカール等で上にまとめて止めます。ホイルリング以外の部分は4セクションに分け取ります。

## ワンメイク

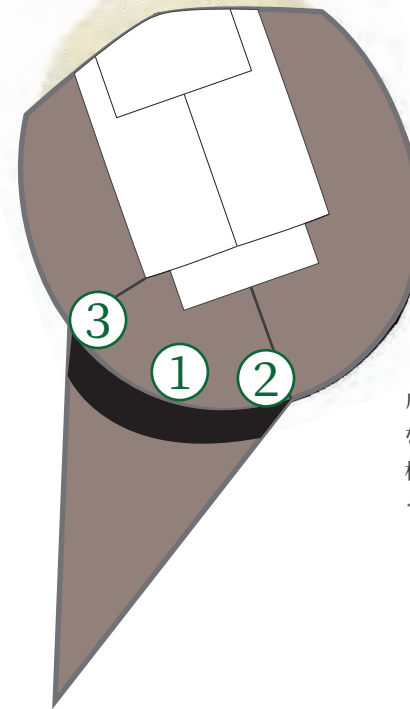
ホイールワーク後のワンメイク手順について（中間から毛先）



ホイールワーク後、ワンメイクの塗布のために、ホイリング部分をすべて上にあげて、シングルピンで優しく固定します。  
 ホイリング以外の部分を4セクションに分けます。  
 中間から毛先はネーブから、厚さ2cmから3cmのスライスをオンベースに引き出し、  
 根元1.5cm空けた位置から薬剤を塗布していきます。ハケの角度は60度から0度に徐々に寝かせながら進み、  
 毛先まで伸ばします。（シングルスター同様です。）頭の丸みに合わせてオンベース（上図参照）  
 根元を1.5cm空けて塗布します。塗布の順序は＜左バック→右バック→右サイド→左サイド＞

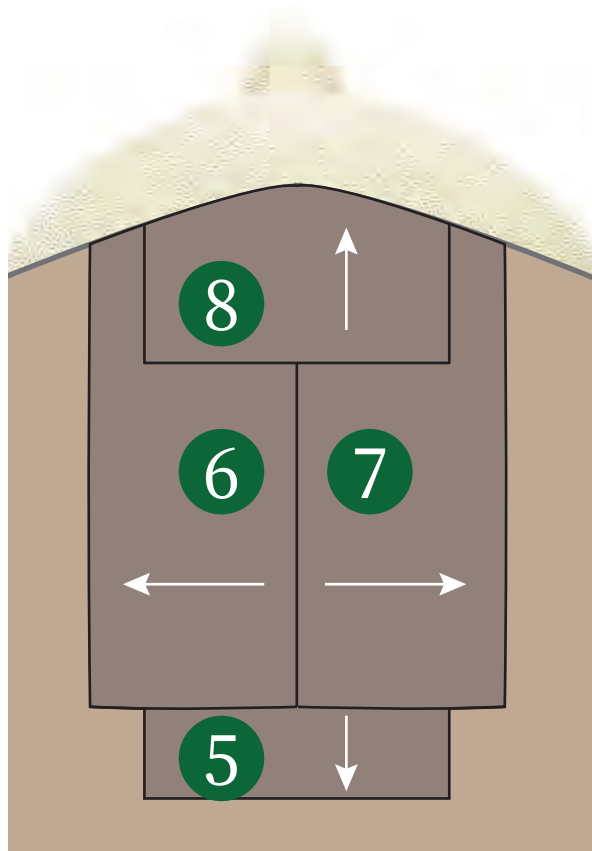


ステムはオンベースに引き出し  
 塗布量は毛先にかけて増やします

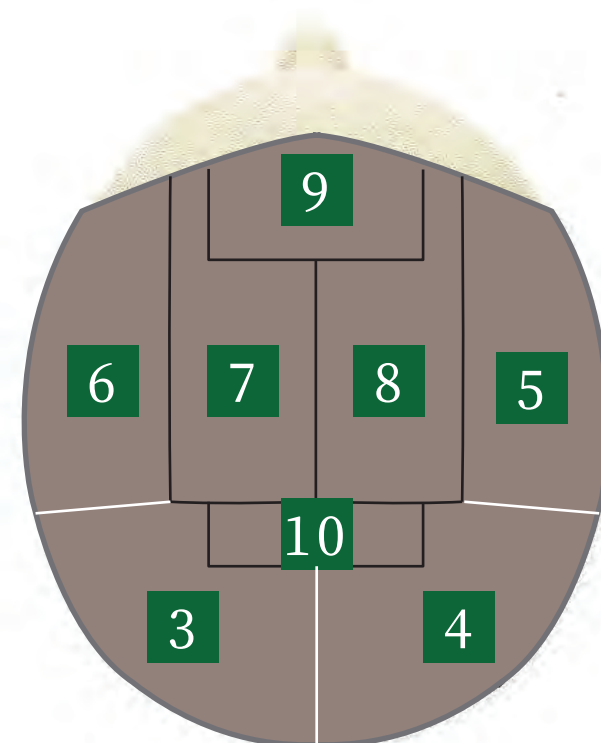
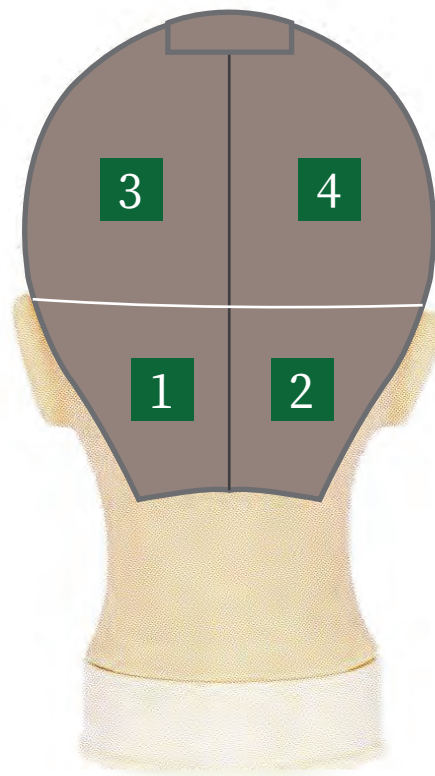


バックの3から5パネル目やサイドの3パネル目以降  
 などスライス幅が広がるので頭の丸みに合わせて  
 根元から全ての場所が1.5cm空くように  
 ＜真ん中→右→左＞の順に塗布します。

ホイルワーク周りの塗布手順について

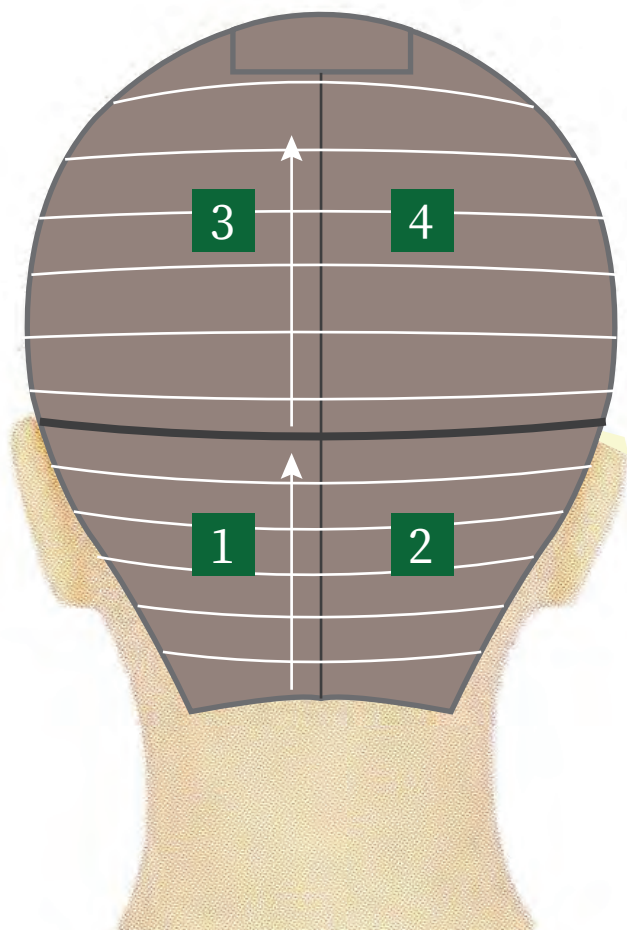


根元の塗布手順について

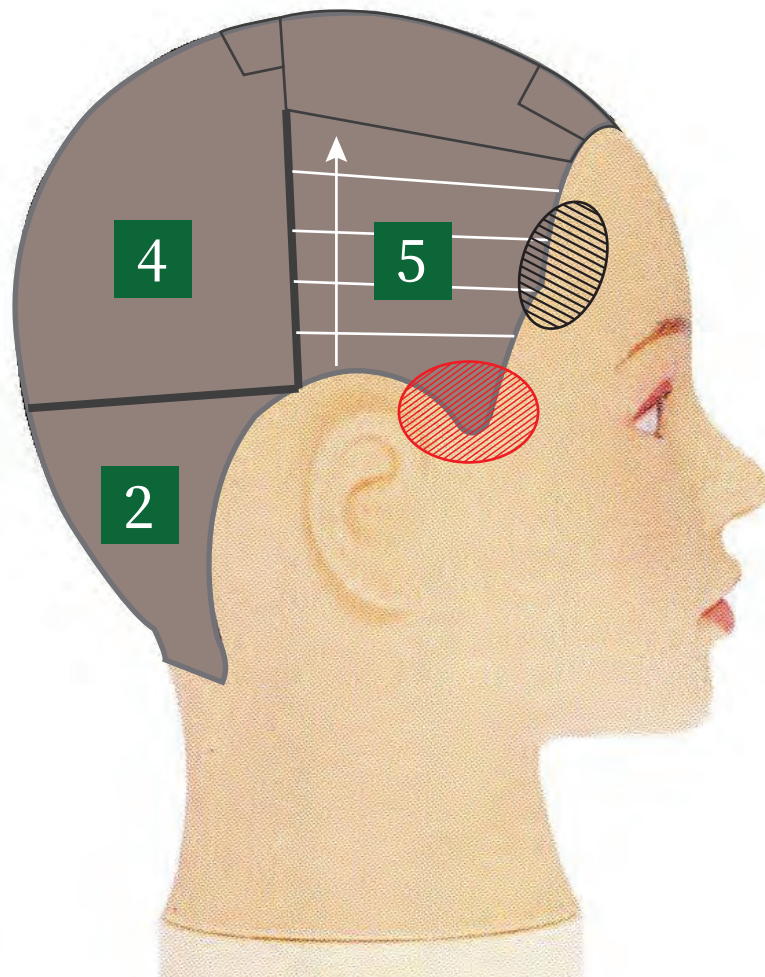


⑤ のセクションから順に、ホイルとホイルの間のスライスを1枚1枚丁寧に重ねながら塗布していきます。スライスは各セクション上から順に、横スライス、オンベースに引き出し根元1.5cm空けた位置から薬剤を塗布していきます。コームをホイルに引っかけないように注意します。



根元の塗布手順について



根元の塗布（3 4 のセクションはダッカールで軽くとめておく）約1cmの横スライスで引き出し  
少なめの薬剤で根元の表と裏両方に塗布します。  
番号に沿って、アンダーセクションから上に塗り進めていきます。  
頭の丸みに応じてスライスが広くなる部分は＜真ん中→右→左の順に＞塗布し上に向かって進みます。



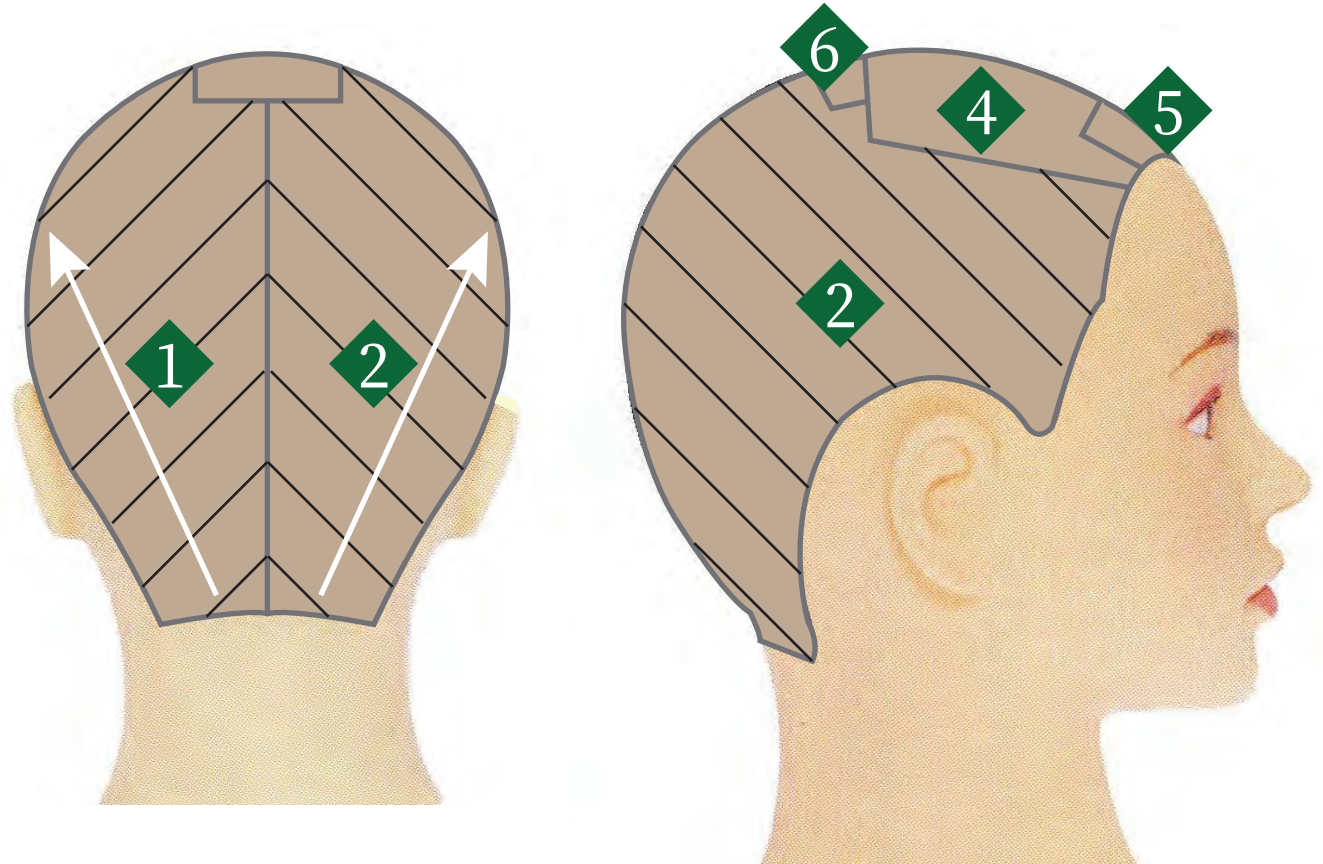
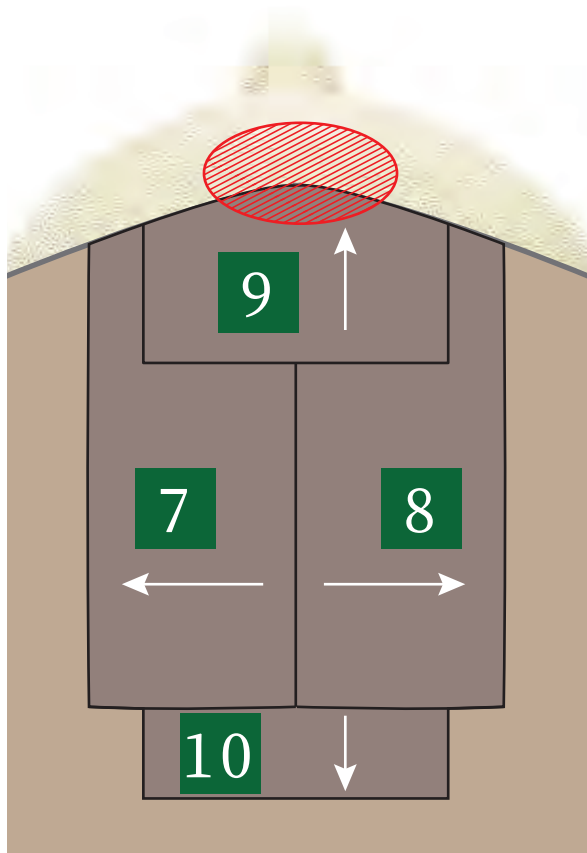
5 のセクションも横スライスで下から塗布します。

-  部、耳上、顔まわりもみあげ付近の塗りもれが多いのでしっかり塗布します。
-  部、薬剤がたまらないように注意します。


## チェック塗布

根元チェック塗布について

ホイル周り、根元の塗布手順について



ホイルとホイルの間のパネルの根元は、ハケを横移動させて塗布します。

 富士額付近は塗りもれがあるので注意します。

ハの字スライスでバックより根元部分を塗布します。バックからのそのまま左サイドまでハの字スライスで塗布し、その後右側をチェックします。

最後に、ホイル周りを再度（ホイル周りの根元の手順と同じ）チェックし終了です。